

令和2年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		10-	1	
事業名	高齢者福祉事業		会計	款	項	目
			一般	3	1	2
施策	2	人にやさしいまち	課名	健康長寿課		
	2-2	支えあいを実感できるまちをつくる	係名	高齢福祉係		
	2-2-3	高齢者福祉の推進				
主要施策	④ 保健福祉サービスの推進		⑤ 生きがいがづくりと社会参加の促進			
	⑥ 高齢者が住みよい安心なまちづくりの推進					

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	65歳以上の高齢者	目的 (対象がどのような状態になっているか)	介護保険サービスを補足する形で提供するサービスなどを推進し、たとえ介護が必要となっても高齢者が住み慣れた自宅で生活できるような体制を構築することにより、高齢者が住み慣れた地域で、いつまでも健康で生きがいにあふれた生活を送ることができる。
事業内容	緊急通報業務・・・一人暮らし高齢者等で発作を生じる持病がある方に緊急通報装置の設置を行う。 シニアクラブ補助事業・・・地域の高齢者による相互支援活動等に対し助成する。 シルバー人材センター補助事業・・・高齢者の社会参加の促進、生きがい就労への支援を行う。 ホームケア事業・・・在宅寝たきり高齢者等に対し、おむつ代等の助成を行う。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

		指標名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	目標方向	令和2年度 (目標)		
指標	1	緊急通報装置設置台数	28	25	21	台	→	45		
	2	シニアクラブ会員数	2,177	2,137	2,061	人	↑	2,600		
	3	シルバー人材センター会員登録者数	293	297	312	人	↑	310		
	4	おむつ助成人数	62	64	60	人	→	75		
	5	寝具洗濯乾燥サービス費利用回数	0	1	0	回	→	8		
	6	理美容サービス費利用回数	31	31	41	回	→	36		
			令和元年度 (決算)		令和2年度 (決算)		令和3年度 (予算)			
全体事業費 (千円) A+B					27,514		28,062	29,707		
財源内訳	直接事業費 A				23,752		23,772	26,077		
	うち一般財源				23,752		23,772	26,077		
人件費 (千円) B					3,762		4,290	3,630		
内訳	一般職員 (人・千円)				0.57	3762	0.65	4290	0.55	3,630
	臨時職員 (人・千円)				0	0	0	0	0	0

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	B 達成できなかった
		町関与の必要性	B 町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続 (事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R2年度の改善計画	補助金については、令和2年度中に見直しに向けた方向性を決定する。 また、計画の策定にあわせ、高齢者福祉事業を精査、検討する。	③取組の課題	シニアクラブ、シルバー人材センター等については、会員数の伸び悩みが問題であるが、同時に町の財政状況から補助金の見直し等も必要となる。また、75歳以上の高齢者が急増することから、高齢者福祉事業の内容、対象者を精査、検討が必要となる。
②R2年度に実施した取り組み	補助金の見直しに向け、シニアクラブ連合会及び全単位シニアクラブとの意見交換を実施し、方向性を決定した。 また、高齢者福祉事業について、次期計画に必要に応じた見直しを位置づけた。	④今後の改善計画	補助金については、決定した方向性に基づき令和3年度から見直しを行う。 また、高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画に沿って、高齢者福祉事業を精査、見直し検討する。